

月刊 MARUSHO

2023年 2月号

丸 庄 発 、 選 り す ぐ り の 情 報 を お 届 け し ま す 。



情報発信にもいろいろあります

企業活動の
情報発信に役立つ
プレスリリースとは

今やメディアにアプローチをして、情報を伝える一つ的手段として一般的になった「プレスリリース」ですが、混同されがちな「広告」との違いは何か？ どのような効果があるのか？ 配信できる情報についてなどをまとめてみました。

●プレスリリースとは

企業・団体などが新しい情報をテレビ、新聞、雑誌、ニュースサイトなどのメディア向けに発表する公式文書の事。

●配信の目的とは

企業の最新の活動をメディアにニュースとして取り上げてもらう機会を増やす事です。

消費者は、テレビや新聞など自社以外の第三者であるメディアの報道を信用する傾向があり、メディアに取り上げられることで公的な信用を得ることになります。

●広告との違い

広告は企業から消費者への直接的な情報発信ですが、プレスリリースはメディアに向けた情報提供となります。それぞれの性質を理解し、目的に応じた情報発信を行う必要があります。

	プレスリリース	広告
内容の主導権	メディア	広告主
読者の信頼度	客観的で高い	主観的で低い
コスト	低い	高い
露出方法	WEBニュース、TV番組、新聞など	広告、CMなど

●その効果について

第三者の客観的な視点を持つメディアにニュースとして取り上げられる事で、以下の様な効果が期待できます。

- ・企業として社会的認知度を上げる
- ・商品・サービスなどの認知度を上げる
- ・ブランドイメージの向上
- ・ステークホルダー（利害関係者）との良好な関係性構築

●プレスリリースで配信できる情報とは

- ・新商品・新サービスの発表
- ・キャンペーンの発表
- ・イベント開催の告知
- ・新開発した技術の発表
- ・会社の経営計画・事業計画、業績、決算の発表
- ・他社との業務提携、合併、新会社設立
- ・社会貢献や地域活動、周年事業



最近ではプレスリリース配信サイトや自社メディアなどから、一般消費者がプレスリリースを見る機会も増えております。その為、見た人の興味を引く情報を提供する事で商品の購入やサービスの利用、企業のファン獲得にもつなげる事もできます。プレスリリースは企業活動を発信する手段のひとつとして重要視されております。

Facebook・Instagramでは、丸庄情報・千住、足立区の情報をゆるく楽しくご紹介しています。フォローよろしくお願いします！皆さんの  いいね！ お待ちしております。





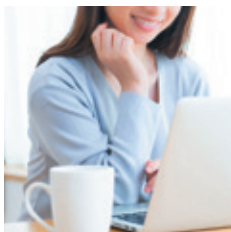
コロナ禍に生まれた非接触サービス

20～60代以上の男女726名にアンケートを実施したところ、7割以上がコロナ前より非接触に対する意識が高まり、6割以上がアフターコロナ時代にも非接触技術の普及を望んでいるという結果が出ました（株式会社アスカネット調べ）。コロナ禍に生まれた非接触サービスをいくつかをご紹介します。

新時代の社内イベント・研修サービス「バヅクリ」

バヅクリ株式会社は、テレワークが促進されリアルなイベントが実施できず、社内のコミュニケーションが不足している企業に対し、社員がオンラインで共に体験できるプログラムを提供しています。

150種類以上の「仲間作り社内イベント」があり、社員の関係構築・モチベーションの向上・ストレスケア等の課題を解決に導きます。また、内定者同士の連帯感を高める研修サービスも実施しています。



手で触れずに商品購入が可能「完全非接触自販機」

富士電機は自販機に表示されるQRコードをスマートフォンで読み取り、手で触れずに商品を購入できる自販機「完全非接触自販機」を販売しています。商品の取り出し口は自動で開閉するので、フタに触れることなく商品を取り出せます。

支払いはキャッシュレス決済で、将来はPASMO（パスモ）やSuica（スイカ）などの交通系ICカードとも連動する予定です。



非接触型僧侶派遣サービス「スマ坊さん」

終活・葬送支援サービスなどを提供している株式会社終楽（本社：愛知県春日井市）は、葬儀や法事の際に僧侶を招かず、寺院の本堂で故人向けに行われた読経をオンライン配信する「スマ坊さん」を展開しています。

故人の俗名・戒名を踏まえたお経を僧侶が読みます。読経の時間は、法要・供養で各15分前後、告別式・初七日で15～30分になります。



ハンズフリーで公共交通機関に乗れるアプリ「360パス」

日立製作所のグループ会社である日立レールは、スマートフォンに所定のアプリをインストールすれば、ハンズフリーでバスや電車に乗車できるという世界初の技術を開発しました。駅やバス停に小型の発信機を7000個以上設置し、そこからBluetoothの信号を飛ばすという仕組みです。ICカードを改札機にかざす必要もありません。

現在、イタリアのジェノバがモデル都市となって実用化されていますが、ほかの都市でも導入を検討しているそうです。



まるメルのパックナンバーはこちら▶ [週刊marusho](#) パックナンバー [SEARCH](#)

【丸庄からのお知らせ】

2月23日(木)から3月8日(水)の14日間、展示販売イベントに参加します

弊社のノートです

2月23日（木・祝）から3月8日（水）の14日間、有楽町にある体験型ストア「b8ta（ベータ）有楽町」にて足立区の展示販売イベントに参加します。

足立区は、モノづくり・食・サービスなど実に幅広い業種が集まる街です。元気な企業がたくさんあって、地域のつながりを大切にしながら暮らしに役立つもの、使う人が喜ぶものを作っています。この度、そのなかから10社の製品が有楽町に集います。弊社はスタンプ専用ノートを販売いたしますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

会期 2.23（木・祝）～3.8（水） 11:00～19:30（最終日は18:30）

会場 b8ta Tokyo - Yurakucho エクスぺリエンスルームA
有楽町電気ビルディング南館1階
（JR有楽町駅より徒歩3分／東京メトロ日比谷駅より徒歩1分）



展示販売イベントのご案内
足立区有楽町内蔵展示販売事業

MARUSHO
株式会社 丸庄

〔本社〕
〒120-0034 東京都足立区千住4-16-12
〔川口工場〕
〒332-0002 埼玉県川口市弥平2-15-24

お問い合わせは
Tel. 03-3881-2131(代)

www.msmarusho.co.jp
株式会社丸庄 [SEARCH](#)

GREEN PRINTING JPP1
F-810275
この印刷製品は、環境に配慮した
素材と工場で製造されています。

ミックス
責任ある水質資源を
使用した紙
FSC® C005004
www.fsc.org